

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	332魅力ある商業の育成		
施策のねらい (めざす姿)	消費者ニーズを的確にとらえ、より豊かな生活を提供する商業・サービス業が多数集積し、特に個性ある魅力的な個店には市外からも多くの消費者が訪れています。また、高齢者へのきめ細かな対応など、商店街が地域とのつながりをより深めています。		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	33活力ある産業を育成します	マネージャー氏名	渡邊 忠明

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	商店会等の自助努力による商店会の発展が図られるよう支援したい。	③改革・改善内容	各商店会に対し街路灯のLED化を推進することで、街路灯の維持管理に係る費用負担を軽減する。また、商店街と地域のつながりを生む共同事業(イベント)に係る経費の増加を図る。
②①に基づく取り組み結果	補助金の申請を行う際に、各商店会の個々のイベント事業に対する事業効果等を明確にし、検証をしたうえで補助金の交付を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	商工業団体	意図(対象をどうするのか)	補助金を通じ、商工業の振興を図る
②施策の概要	商工業振興補助金 商工会が行う経営改善普及事業や各商店会が設置している街路灯など共同施設の設置、イベント実施など共同事業に対して、市は補助金交付基準により補助する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	大型店や全国展開するチェーン店の進出により、既存の商店会は厳しい立場に置かれているため、商店会の活性化及び育成が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	商工会及び商店街の活性化・育成を図るために補助金の支出を行った。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	年間商品販売額	千万円	7,783	—	—	8,700
	ii	小売業における売り場面積	m <sup>2</sup>	83,591	—	—	90,400
	iii						
③基本事業成果指標	i	商店数	店	636	—	649	630
	ii	商店会数	件	13	—	13	13
	iii	鎌ヶ谷情報ナビ登録件数	件	516	516	516	600
	iv	空き店舗情報公開件数	件	24	25	25	50
	v	ふるさと産品認定件数	件	37	32	31	33
	vi	観光入込客数	万人	19	18	18	30
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成27年度予算		
事業費(千円)	28,954	24,373	(単位:円)		224円	53,923	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	電気代の上昇などにより、各商店会で保有する共同施設(街路灯)の維持管理が困難となってきている。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	自己資金の都合上、街路灯のLED化に着手できていない団体(グリーン通り商店会、大仏商店会)が存在するため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	商工業振興に要する経費		
④上記方向性の説明	街路灯のLED化を推進し、固定費用(電気代等)を引き下げること、共同事業(イベント)の充実を図る。		